



SSKP

つくつく通信

No.93

ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> メール fs2941@nifty.com

つくしんぽはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～NPO法人はらっぱ
フリースペース
つくしんぽ
町田市小川1511番地
TEL/FAX 042-796-8468

3月11日午後2時46分
「この瞬間、私は自宅のパソコンに向かい、「この通信の文章を作成していました。昨年度内になんとか三回目の通信を発行しなければと思いつつも、どうにも文章がうまくまとめられずに悪戦苦闘している最中の」とでした。

ゆっくりした横流れ。震源は遠そだしどうして心配はないかなと思ひきや……。

次第に揺れが激しくなり、こりゃ建築60年超のオンドロ建物のつくしんぽの方がやばい!!と思つて飛んで行くと、子どもたちはまだ一人も来ておらず、職員が一人して庭に避難していました。

信じられない光景

地震後はずつとテレビに張り付いていました。

震源は三陸沖。M8以上。大津波に襲われた沿岸の町の幾つかが壊滅状態……。時間が経つにつれ、被害状況は悪化していきます。津波の映像を見て、息が詰まるばかり。そういうれば、阪神淡路大震災のときも、報道による状況は時間が経つにつれ、どんどん悪化していくことを覚えてします。

あらためて調べてみると、阪神淡路大震災は95年の1月17日だから16年前。そして、つくしんぽの活動を開始したのは96年6月だから15年前。時間が経つのって、ほんと早いですね。

つくしんぽの会報紙

生かされていく・・・といふこと

東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

淡路大震災の年に生まれたと宣誓のなかで言ってたつけ。

「がんばろうー日本」。

生かされている命に感謝し、

全身全霊で正々堂々とプレー

する」とを誓います。

生かされる感覚

宣誓を行なった彼がこの宣誓の

文章を自分でつくりたの? なんて

つまりしないで「」をする気は

あります。でも、「生かされてい

る命」という微妙な感覚、高校生

の彼に本当に理解できるのかな?

なんて、ついつい思つてしまつた

りはしていました。

私は……つくしんぽ施設長の山

下は……散歩中の長男を事故で失った以降のこの5年間、ずっと生かされているような感覚と闘つきました。
喪に服す、なんて無理。とにかくジタバタ足掻いていないと、自分の頭がおかしくなってしまうかも知れない。生かされている理由と真っ向勝負する」としか、自己保身の方法はありませんでした。



幸いにも私は、田の前に「自閉症の青年を主人公にした映画をつくる」という目標がありました。私はひたすら、映画制作のことだけを考え、自らの精神状態を守り続けてきました。

わかるんです。長男を失つたときの私も同じだったから。

動いていないと、悲しさに押し込められてしまう。自分の生きている理由、生かされている理由を考え、追いかけ、頑張つて何かをしていないと、頭がおかしくなつてしまつ……。

施設長を降りました

そんな悲しいニュースを毎日見続けながら、私は15年間続けてきたつくしんぽの施設長を降りると決めました。本当は5年前の長男の事故の直後にやめたかったので

なかには、大切な家族を失つた方も大勢いるはずです。

そして、そんな方の多くが、自分の家族の消息がわからぬまま、ボランティア作業に携わっている姿がニュースには映し出されています。

わかるんです。長男を失つたときの私も同じだったから。

動いていないと、悲しさに押し込められてしまう。自分の生きている理由、生かされている理由を考え、追いかけ、頑張つて何かをしていないと、頭がおかしくなつてしまつ……。

私は「福祉」を志した人間ではありません。長男が障がい児だった親の立場として、障がい児とその親たちの「避難所」として、つくしんぽ始めたんです。その長男はもういない。なのに、私自身がつくしんぽを続けなければならぬ理由が、今は見出せません。

この5年、映画づくりに携わりました。そして、このタイミングで結論を出すことにしました。

今後のつくしんぽは、「自分ではなく、誰かに託そつ」と。

新施設長は決まっています。なので、施設長は不在。代わりとしてNPOの理事長の私が施設長代理の立場を今年度一年続けることになっています。

新制度への移行をきつり済ませ、つくしんぽを必要とする次の世代の誰かにバトンタッチさせて貰つつもりでいます。

ささえる会員登録・会員更新
ありがとうございました
小田様、工藤様、三田村様、鈴木様、川谷様、友井様、小田島様、黛様、三木様、山内様、玉川電気様、伊藤歯科医院様

(12月～3月)

ボランティア・ドネーション寄付

ありがとうございます。
三箇山様、山下様、山本様、宮崎様、久保様、桜井様、藤田様、三宅様、木島様、行田様、木村様

